

北広島市外部評価委員会資料

教育委員会管理部管理課

〈奨学金支給事業〉

1.事業の目的

能力があるにもかかわらず、経済的な理由によって修学困難な学生及び生徒に対し、学資の一部を支給することにより、保護者の経済的負担の軽減を図りひとしく教育を受ける機会を与えることを目的として、昭和53年度から行っている。

2.奨学生の対象者

市内の市立中学校を卒業し、市内に住所を有しており（保護者のみも含む）、学校教育法第1条による高等学校等に在籍するもののうち、学費の支弁が困難で、学業優秀、性行善良等の条件を兼ね備えている者。

3.奨学生選考方法

市議会議員2名、市内中学校校長2名、学識経験者3名で構成される奨学生選考委員会で、申請のあった生徒の経済的状況や学業成績などを考慮した中で、予算の範囲内での人数の奨学生を決定する。

4.奨学金の支給金額

月額 5,000円 年間60,000円

5.近年の支給状況

年度	出願者数		選考者数		備考
9	50人	公立 39人 私立 11人	40人	公立 30人 私立 10人	
10	51人	公立 36人 私立 15人	45人	公立 33人 私立 12人	
11	59人	公立 53人 私立 6人	50人	公立 45人 私立 5人	
12	76人	公立 65人 私立 11人	56人	公立 49人 私立 7人	
13	62人	公立 50人 私立 12人	59人	公立 48人 私立 11人	
14	84人	公立 65人 私立 19人	65人	公立 52人 私立 13人	
15	94人	公立 71人 私立 23人	65人	公立 56人 私立 9人	
16	81人	公立 72人 私立 9人	65人	公立 58人 私立 7人	

17	87人	公立 75人 私立 12人	65人	公立 56人 私立 9人
18	94人	公立 70人 私立 24人	65人	公立 52人 私立 13人
19	98人	公立 75人 私立 23人	65人	公立 51人 私立 14人
20	100人	公立 78人 私立 22人	65人	公立 52人 私立 13人
21	110人	公立 89人 私立 21人	65人	公立 54人 私立 11人

6.課題等

近年の景気低迷により年々申請者が増えており、支給対象者人数の拡大、支給額の増を望む声が多いが、奨学金は奨学基金の運用から生ずる収益及び奨学基金の一部処分による資金をもってこれに充てており、その財源が年々減少してきており、また他市と比較しても本市の対象者数が多いことなどから今後も現状で維持していきたい。

7.他市の状況

市町村	奨学金（月額）	方法	奨学金支給人数
北広島市	5,000	給付	65名
千歳市	5,000	給付	15名
恵庭市	なし		
江別市	8,000	(公)貸与	
	18,000	(私)貸与	
石狩市	5,000	給付	15名
札幌市	5,000	(公)給付	
	8,000	(私)給付	